

外部の講師による研修や園内での公開保育の取り組みが継続して行われ、子どもの自主性や主体性を育む教育・保育の実現に結びついていると思います。また、子どもの特性や発達を踏まえた保育に柔軟に対応できるように、指導計画や保育記録の様式を改良にしたことは、教育・保育の質の向上に大きな成果をもたらしていると思います。

さまざまな取り組みが子どもの健やかな成長を目指して実践されており、その都度、または折に触れ、保護者に伝えられていると思いますが、一部の保護者にはまだ十分でないという点が保護者へのアンケートから伺えます。保護者アンケートの回収率がほぼ100%に近く、こども園に対する保護者の関心は非常に高いと思います。どのような形（方法）で発信したらよいのか、何を発信するのか、どんなタイミングで伝えるべきか、今後の課題の一つであると思います。

令和 7年 3月14日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美



## 月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

今年度もいろいろな要望、意見がある中で園の考えをきちんと丁寧に答えていることを感じました。要望、意見を受け入れるばかりでなく園の考え方や取り組みを具体的に伝えることは大切ですね。(特にできないことはできない。何故そうなのかをきちんとわかりやすく丁寧に伝えることも重要であると思います。)

アンケートの結果の中で、「わからない」という方がめだちますが、「わからない」ではなく別の言葉の方がわかりやすいのではと思いました。

「子育て講座」もとてもいい講座にもかかわらず出席者が少なく残念でしたね。

又、むずかしいとは思いますが、工夫されて出席者が多くなることを考えてください。

外部の講師の方を招いての公開保育、カンファレンス等や、日誌、ドキュメンテーション等、職員の皆様の頑張りが伝わってきました。今後も無理なく継続されたらいいのではないかと思います。食育の方も頑張りが伝わってきました。自作ピザ窯、感動致しました。保育・教育もそうですが、なかなか家庭では経験できないことをこどもたちに経験させてあげてください。

令和 7 年 3 月 17 日

役職等                      監 事

氏名                      嘉藤 恵子



- ① 行事では、各年齢の取りくみの様子や、見て欲しい点を伝えていて良かった。子ども達は、楽しんでいる。演じていることが表情、声にあらわれていた。
- ② 子どもが主体的に活動できるように、職員間での話し合い、確認をとりながら一人一人の良さを認め、すめられていることがうかがえます。
- ③ 公開保育では、客観的な意見や思いから学ぶことも多く、園として目指している方向にあっているのではないかと感じました。
- ④ 楽しみながら食事ができるように、多岐が、セレクトメニュー、季節行事の体験等、とても工夫されており、感心しました。
- ⑤ 子育て支援では、看護師、栄養士が直接、保護者の質問に答える時間もあり、知る事ができる。いい時間だったのではないかと思います。ほけん下よりも、大人でも再確認できる内容でとても参考になりました。

令和7年 3月 17日

役職等 監事

氏名 堅田 光恵  印

## 月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

年度の終わりにこうした園評価・自己評価等を実施されることについて、心より敬意を表します。今次、間断なく園内研修を積み上げてこられた月津こども園さんの評価結果に接し、貴園の保育実践の力量を実感しているところです。

よきこども園の条件を端的にまた平易な語り口で述べてみますと、

(1) 保育者の子どもとを「いきいき」と語る

(2) 保育者同士の仲が良い

(3) 保護者との関係が良好である。

があげられます。

保護者の皆さんのアンケート結果からは、とりわけ、問1～問3に着目した場合、上記3点の主旨が満たされ、それに裏打ちされた結果の現われていると考えられます。加えて、自由記述に対する回答等も的確であると考えます。(3)の達成度は良好と考えます。

他方、職員の自己評価につきましては、メンバー個々としてもまたクラス単位としても、自信に満ちた評価であったと思います。何故にゆけば結果が得られたかは、「職員の“同僚性の高さ”と解釈することができると考えます。メンバーが園のミッションを理解し、同じ方向に向いて、励み合い、支え合って仕事をしているからこそのことです。これは決定的に大切なことです。組織としての同僚性の高さか(組織の質)保育の質と直結することは明らかであり、これが子どもの育ちを深く、ところから支える原動力となり、それは、子どもの主体性と豊かな可能性を生み出すこととなります。

私は、そのような皆さんと研修を通してつながっていることを誇りに思います。

この後は、実践を累々と蓄積し、更新し続けて下さることをお願いいたします。

保育実践への挑戦を。是非に。

令和 7 年 3 月 18 日

役職等 金城大学短期大学部 客員教授

氏名 和泉善智枝 



## 月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

評価文の中に、「日頃の子ども主体の生活と遊びを大切にし、そこから生まれる子ども中心の遊びを行事につなげていく」とありました。行事のためではなく、日常大切にしている保育の先に行事や発表の場があるという視点を大切にされていることが分かります。そのことは、年間を通して連携させていただく中で、先生方が園児に向き合う姿勢や園長先生からのお話からも十分伝わってきます。

「主体性を育む」という点についても、一人一人が考える時間、集団で話し合う時間を大切にされていることも分かりました。

また、園児が安全に安心して過ごせる場であるための各種訓練が計画的に行われています。能登半島地震から学び、園内での草履の着用を始めたことも、児童の安全を一番に考えての大きな決断であったと思います。そういう判断が素早く行われていることや、安全教育の様子を公開することが、保護者の安心感にもつながっていると思います。

今年度は、職員が保育の様子を見学させていただく機会や、年長児の授業体験などの新たな取組を提案いただきました。これからも、連携を図りながら、月津の子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

これからもよろしくお願いします。

令和7年2月21日

小松市立月津小学校

校長 木下 真由美



## 月津こども園の評価結果に対する意見・コメント


こども園の教育方針、内容などには保護者のほとんどが肯定的な意見を持ち、園の経営全体には満足していることがわかります。

1人1人の子供への対応になると、概ね1/3の保護者が「わからない、あてはまらない」と否定的な回答をしており、今後このあたりの層の保護者の分析が必要ではないかと思えます。園に対して不満があるのか、子供の生活に関心が薄いのか私個人としても知りたいところです。

社会全体の保護者の様子も同様の分布になるのかなと思えますので、他のこども園の結果とも比較して何かわかれば教えてください。

令和7年2月24日

役職等 月津校下主任児童委員

氏名 山 路 基 洋 

月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

多くの園児がいるので意見等も多くの保護者様により思いもよらない質問等があると思っております。私自身も言われて気付く事もある中で、このような意見は、園がよりよい場となるためには必要な事もあると思っておりますが、対応させる園の先生もご苦労がある事だと思います。

時代の流れと共に便利なアイテムは使用しつつまたまた先生と保護者の対面での会話なども誤解や理解を得るためには必要だと感じました。

令和 7年 2月 20日

役職等 リトミック講師

氏名 吉田 嘉子



## 月津こども園の評価結果に対する意見・コメント

理念や基本方針の理解や周知は9割程度あるが、園だよりなどの配布への満足に対して

分らないやあてはまらないが3割程度あるため、具体的に保護者に対し機会があっても良いと思った。

(その他のアンケートも3割程度あるため、同様に)

食育なども色んな体験を通して、学ぶことができ、家庭だけでは経験できないことを

集団生活を通して、行事を通して行っていると思います。

ワラス通信、園だより、食育だよりが紙ベースでは無くなったことで、配布されない分、携帯からじっくり読む人

が配布している時としては減るのではないかと感じます。(ワラス通信は写真もあり、家で印さっていますが、その他で

印していないのが我が家の現状です)また、お迎えが祖父母の場合などは、玄関に取っ手も取り忘れたら、

(頼み忘れたり?)もありかもしやないかと。全体の場ではNsの業務や食育の内容を伝える機会が

あっても良いかと思いました。

令和 7 年 2 月 19 日

役職等 保護者会 会長

氏名 園部 馬彦太

